

東建パブリニュース

平成29年10月12日

経営管理本部 広報 I R 室

《 このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年9月15日 刀剣界 P. 7

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

NEWS
&
TOPICS

関鍛冶伝承館で五箇伝の名刀が一堂に

刃物の町で有名な岐阜県関市で十月七日(土)・八日(日)、第五十回刃物まつりが開催されます。今年もその会場の一つとなる関鍛冶伝承館で七月二十二日～九月二十五日の期間、企画展「東建×刀剣展〜五箇伝の名刀〜」が開催されました。

陳列された刀剣は、東建コーポレーション(株)の左右田鑑徳社長兼会長が長きにわたり収集してきた名刀の一部で、関市が借り受けて展示したものです。平安時代後期に日本刀が完成して以降、大和国・山城国・備前

国・相州国・美濃国の五方国は代表的な製作地となりました。それぞれが持つ特徴的な作風は「五箇伝」と総称されています。その一つである美濃伝は、ここ関市とその近隣で盛行し、伝統は今日に至っています。

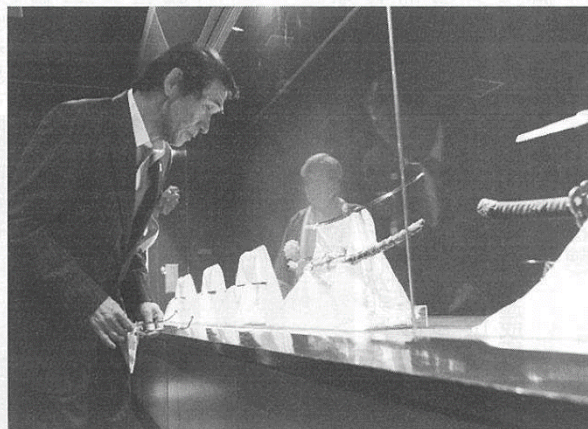
東建コーポレーションの本社がある名古屋は当地からも近く、今回のコラボの実現には「東建」と「刀剣」という響き合う言葉がキーファクターとなりました。時代の求めに応じて起業した左右田社長の目指すビジネス理念は、日本刀の五箇伝の伝承と、時

空を隔てて共鳴するところがうかがえ、それが今回展覧に供された優れたコレクションの源泉かと思われず。

関鍛冶伝承館で五箇伝の日本刀を一堂に陳列するのは初めてのことです。近隣や他県からも多くの来場者があり、大盛況でした。関市と東建コーポレーションは今後に向けて、日本刀ファンを楽しませてもらえる斬新な企画を用意されてい

るようです。

(嶋田伸夫)



関鍛冶伝承館で刀剣類を鑑賞する左右田氏